

## 平成24年度総務委員会活動報告

### 1. 会議等の開催状況

第1回総務委員会 平成24年9月13日(木) 東京大学総合図書館

第2回総務委員会 平成25年5月13日(月) 東京大学総合図書館

上記の他、電子メールによる審議を行った。

### 2. 活動内容

#### (1) 平成25年度国立大学図書館協会賞について

国立大学図書館協会賞への応募が3件あり、総務委員会設置要綱3(2)にもとづいて協会賞専門委員会を設置、協会賞専門委員会要項第4条による同専門委員会の委員長として九州大学の益森事務部長を指名し、同専門委員会において審議を行った。

同専門委員会からの審議報告を受け、総務委員会のメール審議において、審査結果を了承し理事会へ報告することとした。

#### (2) 海外派遣事業の平成25年以降の実施について

海外派遣事業の今後の継続について検討し、平成24年度をもって田嶋財団からの助成が一旦終了するが事業としての意義は高いことから、今後も現状と同規模の事業を継続すること、ならびに外部からの助成がない場合には本予算と協会記念基金からの支出をおおむね2:1程度とすることについて、総務委員会から理事会に提案し、了承を得た。

#### (3) ICOLC 会議への職員派遣について

平成14年度から本協会の事業として行ってきた ICOLC への派遣事業の見直しについて検討し、JANUL コンソーシアムが JUSTICE に統合されたことから、本協会の事業として ICOLC 会議へ派遣するのではなく、国公立大学図書館協力委員会の派遣事業(JUSTICE が受託)に委ねること、ただし、国立大学職員が JUSTICE による派遣メンバーに選ばれなかった場合には、本協会が参加費用を負担し、国立大学職員を JUSTICE を通じて ICOLC 会議に参加させるとの今後の基本的考え方について、総務委員会から理事会に提案し、了承を得た。

#### (4) 平成26年以降の総会日程等について

木曜日午後に総会、金曜日午前にはマネジメントセミナーという現行の日程で問題がないか検討し、平成26年度総会は現行の日程で行うこととした。マネジメントセ

ミナーのあり方については、総会ワークショップ、シンポジウム等も含めて、理事会で引き続き検討することとした

(5) 協会の組織、機関、会則等の見直しについて

会則、了解事項、申し合わせ等の不整合に対処するため、「申し合わせ」の制定・改正案を検討し、総務委員会から理事会に提示した。平成 25 年度総会に向けては「申し合わせ」の制定・改正で対処するものの、最終的には会則そのものの改正を目指すこととした。

(6) 60 周年記念資料の作成について

次回の第 60 回総会に向けて、第 50 回総会にて作成した 50 年史資料集に続く補遺版の作成について検討し、協会事務局が会員館の有識者の協力を得て、原稿作成作業を行うこととした。

3. 委員構成

委員長：	古 田 元 夫	東京大学附属図書館長	
委員：	井 上 修	東北大学附属図書館事務部長	
	中 山 伸 一	筑波大学附属図書館長	
	田 中 成 直	東京大学附属図書館事務部長	(～平成 25 年 3 月 )
	関 川 雅 彦	東京大学附属図書館事務部長	( 平成 25 年 4 月～)
	栃 谷 泰 文	京都大学附属図書館事務部長	
	酒 井 清 彦	山口大学情報環境部長	(～平成 25 年 3 月 )
		名古屋大学附属図書館事務部長	( 平成 25 年 4 月～)
	川 本 芳 昭	九州大学附属図書館長	
	益 森 治 巳	九州大学附属図書館事務部長	
	岩 本 俊 孝	宮崎大学附属図書館長	
事務局：	高 橋 努	東京大学附属図書館総務課長	
	村 上 晋 司	東京大学附属図書館企画渉外係長	